

同窓会 山脈

いしかわ高校



飯田高校〈中〉

教育・医療福祉

旧制飯田中学時代から珠洲の文化を育む使命を担った伝統を受け継ぎ、教育・文化に有為な人材を輩出している。文化人・芸術家は次回に紹介するが、学術教育分野では特異な研究者が際立つ。そのトッ

言語学など異色教授輩出

ブが東京純心女子大の前学長で上智大名譽教授である松尾式之(高12)。上智大卒業、NHKに入り教養番組を制作。米政府の誘いで国務省文化交流局に勤務し、米ジョージタウン大大学院に入学してアメリカ社会史を研究、米生活11年の後帰国、上智大で米国歴史を教えていたが、途中、ワシントンDCの日本大使館に勤務しており、米国政治、社会情勢の分析に定評がある。著書に『大統領の英語』(講談

社現代新書)など。米国のユタ大言語文学部教授の東照二(高26)も国際派だ。早大第一文学部卒業、米テキサス大で言語学博士号修得。政治家の選挙演説など社会言語学が専門で、『オバマが変える日本企業』は話題の著書。京大大学院文学研究科教授の吉田豊(高25)は文献言語学が専門で、平成22年に『善(善)と暗(悪)の二元的世界』を著したとみられる絵画が国内に現存していることを世界で初めて確認し注目された。

大阪観光大教授で観光学部長の浦達雄(高20)は『観光列島診断マニュアル』観光地の魅力測定法』などの著書がある。花園大文学部国際禅学科教授の西尾賢隆(高13)は中国近世仏教と日中交流史が専門。愛知大の砂山幸雄(高25)は現代中国学部教授。理系では、東京理科大名誉

教授、諏訪東京理科大学院工学マネジメント研究科教授の谷辰夫(高10)は太陽光発電研究の第一人者で日本太陽エネルギー学会会長などを歴任、飯田高同窓会東京支部副支部長。医療福祉には金大医薬保健研究域教授で日本褥瘡学会大浦賞(看護科学・床ずれ領域)を受けた中谷壽男(高26)や仁愛大人間生活学部教授で健康栄養学科長の谷政八(高13)ら総じて独自領域を開拓した学者が目立つ。医療分野では、金沢大附属病院副院長の太田哲生(高25)



校訓を刻む石碑

飯田高OB主な教授一覧

| | | | |
|-------|-----|--------------|-------|
| 谷 辰夫 | 高10 | 東京理科大名誉教授 | 我孫子市 |
| 松尾 式之 | 高12 | 上智大名譽教授 | 逗子市 |
| 谷 政八 | 高13 | 仁愛大人間生活学部教授 | 福井市 |
| 西尾 賢隆 | 高13 | 花園大文学部教授 | 京都市 |
| 浅田 洗一 | 高17 | 鶴見大歯学部准教授 | 横浜市 |
| 台蔵 昌子 | 高18 | 服部栄養専門学校教授 | 東京都 |
| 浦 達雄 | 高20 | 大阪視光大観光学部教授 | 東京都 |
| 井端 正幸 | 高24 | 沖繩国際大法学部教授 | 沖縄県 |
| 砂山 幸雄 | 高25 | 愛知大現代中国学部教授 | 名古屋市 |
| 吉田 豊 | 高25 | 京大大学院文学研究科教授 | 京都市 |
| 東 照二 | 高26 | ユタ大言語文学部教授 | 米国 |
| 山崎 敦子 | 高26 | 芝浦工業大工学部教授 | さいたま市 |
| 中谷 壽男 | 高26 | 金大医薬保健研究域教授 | 金沢市 |
| 要 衛 | 高34 | 北陸大薬学部准教授 | 金沢市 |

主な病院・開業医の院長、医師

| | | | |
|--------|-----|---------------------------|-------|
| 中沢 徳三 | 中10 | (医)中沢外科医院長 | 珠洲市 |
| 道下 忠蔵 | 中11 | (医)十全病院 | 金沢市 |
| 恒元 博 | 中12 | 珠洲市総合病院 元顧問 | 珠洲市 |
| 伊豫 太郎 | 中14 | 伊予内科医院長 | 珠洲市 |
| 中沢 泰雄 | 高1 | 中沢産婦人科医院長 | 能登町 |
| 八木 泰夫 | 高4 | 八木内科医院長 | 金沢市 |
| 伊子 進 | 高4 | 伊子医院長 | 福井市 |
| 毎田 武夫 | 高6 | 毎田医院(内科、小児科)院長 | 輪島市 |
| 岡村 紀夫 | 高8 | 岡村歯科医院長 | 小平市 |
| 高 義雄 | 高10 | 高歯科医院長 | 能登町 |
| 安田 正 | 高10 | 大宮医師会メディカルセンター | さいたま市 |
| 杉盛 恵 | 高12 | 穴水総合病院 兜診療所 | 金沢市 |
| 大貫 善信 | 高14 | 大貫眼科医院長 | 珠洲市 |
| 高田 高武 | 高15 | 高田歯科医院長 | 金沢市 |
| 金谷 法忍 | 高20 | 石川県立中央病院副院長 | 金沢市 |
| 四十住 伸一 | 高21 | あいずみクリニック院長 | 珠洲市 |
| 川端 清司 | 高21 | あずみ野眼科 | 松本市 |
| 菅原 洋一郎 | 高22 | すがわら整形外科クリニック院長 | 金沢市 |
| 柳田 和夫 | 高22 | やなぎだ眼科医院長 | 静岡市 |
| 中谷 彰男 | 高23 | なかたに医院長 | 珠洲市 |
| 櫻井 祐成 | 高24 | 春日部内科クリニック院長 | 春日部市 |
| 太田 哲生 | 高25 | 金沢大学附属病院副院長 | 金沢市 |
| 前田 俊彦 | 高25 | (医)美里医院理事長 | 金沢市 |
| 小西 肇正 | 高27 | 小西医院長 | 珠洲市 |
| 高瀬 真二 | 高28 | たかせ歯科医院長 | 珠洲市 |
| 太田 和秀 | 高28 | 金沢医療センター小児科部長 | 金沢市 |
| 道下 秀信 | 高28 | みちした内科クリニック院長 | 珠洲市 |
| 加藤 正仁 | 高29 | 加藤正仁医院長 | 瀬戸市 |
| 刀林 宏三郎 | 高30 | とね歯科医院長 | 珠洲市 |
| 大坪 毅人 | 高30 | 聖マリアンナ医科大学大病院消化器・一般外科診療部長 | 東京都 |
| 鎌田 徹 | 高30 | 恵寿総合病院副院長・消化器外科長 | 七尾市 |
| 田中 正英 | 高32 | まゆみ田クリニック院長 | 長野市 |
| 高枝 正芳 | 高34 | 能美市立病院内科医長 | 珠洲市 |
| 高 敏洋 | 高39 | たかせ歯科医院長 | 金沢市 |

がガン治療に取り組み、肝胆
 膵・移植外科科長、地域医療
 連携室長の重職をこなす。大
 宮医師会メディカルセンター
 の安田正（高10）は埼玉小児
 アレルギー研究会長などを務
 め、さいたま市川島人会長で
 もある。このほか、石川県立

中央病院副院長で循環器内科
 長の金谷法忍（高20）や金沢
 医療センター小児科部長の太
 田和秀（高28）、聖マリアン
 ナ医科大病院消化器・一般外
 科診療部長の大坪毅人（高
 30）、七尾市の恵寿総合病院副
 院長・消化器外科長の鎌田徹
 （同）、能美市立病院内科医長

の高枝正芳（高34）らが医療
 現場で指導的立場にある。元
 科技庁放射線医療総合研究所
 に勤め、故郷にUターンした
 柳田温泉病院の恒元博（中12）
 も医師である。

文科省の栞儀充（高41）は
 金沢大企画評価室企画係長。
 石川県の教育分野では、珠洲
 市教育長の田中栄俊（高18）
 を筆頭に珠洲市宝立小の橋元
 繁幸（高25）、正院小の竹中吉
 郎（高24）、蛸島小の茅山康

男（高25）、みさき小の矢後源
 治（高26）、宝立中の多田進郎
 （高25）、大谷中の松谷太嘉良
 （高27）が各校長で地元学校教
 育を支える。

法政大大学院政策創造科で
 ヘルスケア・ソリューション
 を研究した川島嘉浩（高43）
 は、大学講師や会社勤務時代
 に地域医療福祉に取り組み、
 平成22年に経営コンサルタン
 トの(株)G A R B A G Eを設
 立。昨春、同社で都内目黒駅
 前に能登の地酒、食材をそろ
 える居酒屋「能登の夜市」を
 開店するなどユニークな活動
 を展開している。

【訂正】前回の記事で、金七龍
 太郎（中8）の長男は松波酒
 造の政彦社長ですが、飯田高
 O Bではありません。金七祐
 太朗（高36）は縁戚にあたり、
 能登町で印刷会社・アートプ
 リントを経営しています。奥
 能登応援団事務局代表は光眞
 章（高18）でした。
 （文中敬称略、次回は文化・芸
 術・スポーツ・有資格者その
 他を掲載します）

加能人 12月号 平成23年12月11日発行
 発行所 加能人社
 発行人 高島 誠
 〒920-0059 金沢市示野町西19 マルトモ内
 〒920-8691 金沢中央局私書箱56号
 （郵便に限る）
 TEL076-268-5879 FAX076-268-5896
 振込口座 金沢 00700-4-7162番
 取引銀行 北國銀行本店 口座(普通)122447
 みずほ銀行金沢支店 口座(普通)657333

| | | | |
|------------|----------------------|-------------------|------------------------|
| 月刊「加能人」購読料 | 普通購読 (1年分) | 6,800円(税込) | 郵送料含む 保存用綴込み表紙贈呈 |
| | 半年分3,500円、1部590円(税込) | | |
| | 特別購読 (年額) | 12,000円(税込) | 上記のほか 年賀広告年1回 |
| | 賛助購読 (年額) | 16,000円(税込) | 上記のほか 年賀、暑中広告年2回 |
| | 特別賛助 (年額) | 20,000円以上 (税込) | 上記のほか 年賀、暑中、特別広告年3回 |

「加能人」平成24年2月号につづく